令和3年1月20日第115号発行／陸前高田市議会（岩手県陸前高田市高田町字鳴石42の5）
編集／広聴広報特別委員会　☎0192（54）2111　印刷／㈲第一印刷

第4回　がんばっています!!

市内の団体や個人を紹介します。

佐藤キャサリンさん（29）は、職業指導員として多機能事業所「あすなろホーム」（高田町）にお勤めです。日ごろ、障がいのある利用者さんと施設で一緒に作業に取り組んでいます。北限のゆずの搾汁やスライスなどの加工、青のりの乾燥や袋詰めなどを利用者さんと進めながら、そこでの会話をとても大切にしているそうです。毎日が楽しいと笑顔で語ってくれました。

あすなろホーム職業指導員　佐藤 キャサリン さん

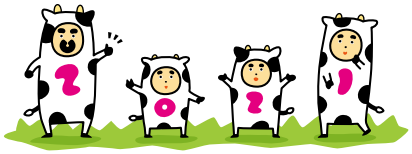
10人くらいの利用者さんと作業に取り組んでいます。ユズは加工し、シフォンケーキやゆず塩の材料になります。青のりは広田で収穫したものを乾燥させ、丁寧に袋詰めします。

作業中にコミュニケーションをとっています。利用者さんの悩みや体調を聞いて、安心して気持ちよく作業できるようにアドバイスしています。

家庭では子育て中なので、勤務時間に配慮してもらえるのは助かります。

仕事は毎日楽しいです。

今年は、利用者さんと一緒にシフォンケーキやドーナツ作りをしたいですね。



謹賀新年

本年も宜しくお願い申し上げます

編集委員

小委員長　鵜浦昌也
副小委員長　蒲生哲
委員　木村聡
同　松田修一
同　大和田加代子
同　伊藤勇一
同　伊勢純
同　佐々木一義

議会報告会について（お知らせ）

議会だより第112号で延期のお知らせをしておりました各地区単位での議会報告会について、昨今の新型コロナウイルス感染症の拡大状況を鑑み、本年度はやむなく中止することといたしました。

次年度の開催に向け、引き続きコロナ禍における活動方法について検討してまいりますので、御理解のほどよろしくお願いいたします。

あとがき

明けましておめでとうございます。

コロナ禍ということもあり、皆さまにとっても、例年になく静かなお正月だったのではないでしょうか。

昨年は、まさに「コロナ漬け」とも言える年でした。「新しい生活様式」が語られ、マスクの着用、距離の確保、仕切りの設置、換気を求められましたが、最近では当たり前のことになっています。

コロナ禍での感染症対策と経済活動の両立、災害対応という難しい課題があり、模索が続いています。

震災から10年の節目となる本年は、市役所庁舎、博物館、職業訓練校といった施設の完成が予定され、新しいまちの全体像が見えてくると思います。このまちにどんな風を吹き込むのか期待されます。

今号には市内5団体と行った「議会と語る会」の内容を掲載しました。今後も、身体的距離を保ちつつ、心には仕切りを立てず、一人でも多くの市民と大いに語り合いたいと思います。

本年が皆さまにとって幸多き年となりますことを祈念申し上げ、あとがきといたします。

（大和田　加代子）